



第1回

7月9日(木)

西田 栄介  
生命科学研究所 教授



寿命と老化の仕組みを探る

逆説的なようですが、老化は生物にとって生命活動の一環です。寿命と老化は、遺伝的プログラムがある一方で、環境要因でも大きく変化します。食事制限による寿命延長や長寿遺伝子などの話題を通じて、寿命と老化の謎に迫ります。

第2回

7月16日(木)

田村 恵子  
医学研究所 教授



「いのち」と向き合う

私は長らくホスピタースとして働いてきました。人は自分の「いのち」と向き合うことで、最期の時まで自分らしく生きることができるのです。こうした「いのち」の営みについて、皆さんとともに考えてみようと思います。

第3回

7月23日(木)

カール・ベッカー  
こころの未来研究センター 教授



「生老病死」に生きる日本人の経験智

かつて日本人は家で身近な人を看取り、老いや死を自然に受容しました。その習慣は人に日々の前向きさや潔さを与えました。親の介護や初盆の法事などに見える先人の智慧に触れ、生き、老い、病を経て死ぬ過程について考えます。

第4回

7月30日(木)

篠原 隆司  
医学研究所 教授



細胞培養から見てきた生命像

現在の生命科学に不可欠の「細胞培養」が始まってからほぼ一世紀が経ちます。細胞培養技術の果たす役割、またそこから見てきた生命像と未来について、生命の根源である遺伝を司る生殖細胞に触れながら考えてみたいと思います。



東京で学ぶ 京大の知 シリーズ18

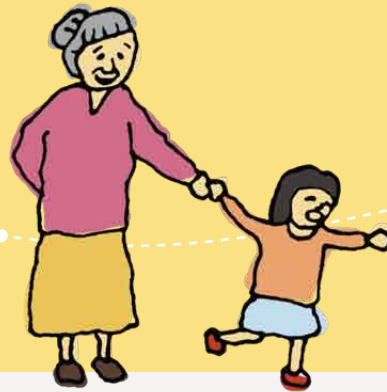
生命・いのち  
— 誕生から死まで —

「生命・いのち」は、自分や子どもや親など身近な存在を通して、きっと誰もが感じたことがあるものです。でも、「生命・いのちって何?」と聞かれると、その距離が遠ざかる、多くの人にとっては少しぼんやりしたものかもしれません。今回は、その「はじまり」や「終わり」、そして寿命や倫理などについて、京都大学の研究者が語ることで、「生命・いのち」についてさまざまな視点から考えてみたいと思います。

【主催】 京都大学

【講演時間】 各回18時30分~20時

参加費無料



開催場所・問い合わせ先

京都大学 東京オフィス 東京都港区港南2-15-1品川インターシティA棟27階

TEL: 03-5479-2220 FAX: 03-5479-2221 E-mail: t-office@www.adm.kyoto-u.ac.jp

URL: http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/tokyo-office/

申し込み方法 [お申し込みはWEBまたはFAXで]

京都大学ホームページからWEBでお申し込みいただくか、申込用紙をダウンロードしFAXでお申し込み下さい。各回定員100名、締め切りは7月1日(水)です。全4回のシリーズですが、1回のみお申し込みいただくことも可能です。なお、定員を超えるお申し込みをいただいた場合は抽選とさせていただきます。



スマートフォン・携帯電話・タブレット端末から上記QRコードを読み取り、京都大学のホームページにアクセスください。